

たからほ

議会だより

2022

10.25

No.116

P2 8年ぶり実質単年度収支黒字

P6 3人を名誉町民に

P8 上水道 管路更新が課題

P11 町立病院黒字決算

P12 人口減少対策を早急に



会議録はコチラへ

みやがわけんぞう

【色づく棚田】 宮川憲三さん（岩戸）

9月
定例会

定例会の
あらまし

会期 8/30▶9/16

議案 決算議案 9件
条例議案 3件
人事案件 3件
補正予算 9件
発議 議 3件

上程された24件の議案と発議3件を提案どおり認定・可決しました。
なお令和3年度一般会計決算については、一般会計決算審査特別委員会を設置し審査しました。
条例議案は消防団、育児休業、光ケーブルに関するもので、全て総務産業委員会が審査しました。
人事案件は、教育長の任命同意と固定資産評価審査委員2人の選任に同意、発議では3人に名誉町民の称号を贈与することに決定しました。
一般質問は6人の議員が登壇し町長に考えを問いただきました。

8年ぶり実質単年度収支黒字

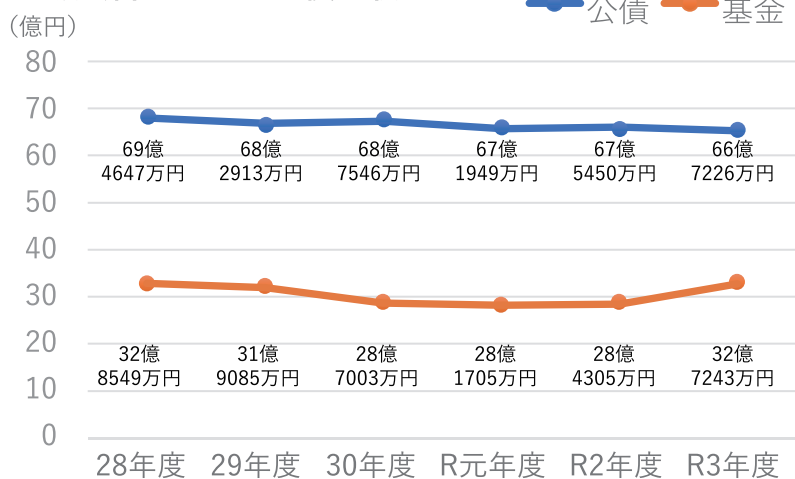
令和3年度 決算を認定

令和3年度一般会計決算は、歳入102億2164万円、歳出97億9155万円です。形式収支が黒字、実質単年度収支も4億136万円の黒字となりました。これは、都市再生整備計画の減や、町営住宅などの事業が完了したことにより、歳出が減少したためです。議会は、今後も最小の経費で最大の効果をあげる町政となっているかどうか、執行状況の確認に努めます。歳入・歳出の内訳は、町広報の10月号をご覧ください。

一般会計収支状況の推移（3カ年）

	R元年度	R2年度	R3年度
歳入(A)	88億2856万円	106億5325万円	102億164万円
歳出(B)	86億1682万円	104億7014万円	97億9155万円
形式収支(C)	2億1174万円	1億8311万円	4億1009万円
翌年度に繰越すべき財源(D)	2871万円	1億785万円	8609万円
実質収支(E=C-D)	1億8303万円	7525万円	3億2399万円
前年度実質収支(F)	1億1191万円	1億8303万円	7525万円
単年度収支(G=E-F)	7111万円	▲1億777万円	2億4874万円
基金積立収支(H)	361万円	175万円	1億5262万円
基金取り崩し額(I)	1億5897万円	1億7370万円	0
実質単年度収支(J=G+H-I)	▲8425万円	▲2億7972万円	4億136万円

一般会計の基金と公債の状況



決算 審査

378件の質疑 主なものをお知らせします

武道館委託料
の減額は

問 コロナワクチン接種会場として武道館使用料が増収している。町が支払う指定管理委託料は減額できないか。

ふれあいバス
の今後は

問 毎年委託料は上がるが、利用料は下がっている。改善策として、過去にデマンド交通(※)などの案が出て、試験的に行うとのことだったが、どうなったのか。

産婦人科
利用者増の努力を

問 昨年アンケート調査を行い、利用者の増加につなげることだったが、利用者の人数と対策は。

企画観光課



各課に提言 28項目を付して決算認定

福祉保険課

①産婦人科の運営については西臼杵3町で協議し、利用しやすい環境に努めること。

②本町の少子化問題は当然のことと捉えず、少子化をストップさせる施策を検討すること。

総合政策課

①新規事業が多く、また委託事業が多いため、事業の全体像を把握するためには、予算・決算審査だけでは十分ではない。必要に応じて随時、進捗や成果について議会へ報告すること。

教育委員会

②地域おこし協力隊への起業支援金については、定住に確実につながるよう要綱の見直しをすること。

税務課

町税の徴収率が下がると地方交付税(※)が減額となるため、相続人不明時には速やかに調査をし、代表相続人の確定に努めること。

農林振興課

コロナ禍による農家所得の減少や資材高騰により、経営が困難になっている。今後の対策を講じること。

※「地方交付税」

市町村の規模に応じ、収入の格差を是正するために、国税の一定割合を各市町村に交付するお金のこと。

移住体験住宅
の利用状況は

問 約400万円で移住体験住宅を購入し改修したが、利用状況は。

企画観光課

利用者は3年度1組であり、活用方法をいま一度考えて、利用率アップに努力したい。

※「デマンド交通」
予約を入れて、指定された時間と場所に送迎する交通サービス。



町広報への掲載や3町へのチラシを配布したが、出生数が減少しているため増加につながらない。病院と協議して、改善していきたい。

7月臨時
9月定例補正
予算

第2回臨時会で4084万円、第3回定例会で1億7913万円の補正が組まれました。
主な補正は、左記の他、宿泊予約システム構築補助金、児童相談システム委託料などがあります。

(一部総括で質疑あり)

全国和牛能力共進会

関連支援金
総額111万円

全国和牛能力共進会鹿兒島大会に本町から県代表として、7頭の和牛が選ばれ、高千穂町から県大会出場お祝い金として1頭につき3万円、全国大会出場のお祝い金として10万円支給されました。関連費用として、本番の審査においても、職員が6日間帯同して出場する和牛の管理や見守りの補助を行うための費用を含め、総額111万円の予算となります。

当初予算でも計上されていましたが、今回増額補正の対応をしました。

中小企業や
畜産農家へ補助金

総額3528万円

宮崎県原油原材料高対策特別貸付を受ける本町の中小企業に対して、町より償還据え置き期間の36カ月分の利子補給を行い、経営安定を図る目的に1350万円補助されます。また、飼料価格高騰緊急対策として、牛の飼養に係る飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫しているため、町内畜産農家に対して、繁殖母牛1頭につき5000円、肥育牛1頭につき1万円を補助するもので、総額2178万円です。



天の岩戸保育園

保育園などへ

給食費補助
126万円

食材の高騰により、保育園、認定こども園などに在籍する園児の給食費の負担を軽減するために、園児1人あたり3000円を各園に補助します。



ワーケーション推進

委託金
1050万円

ワーケーション（※）の受け入れ体制構築のため、基本計画策定やフィールドワーク・モニターツアーを実施します。

また、本町が抱える脆弱な公共交通網の解決に向け、2人乗りの小型電気自動車を試験的に導入します。

※「ワーケーション」とは
観光地などで、余暇を楽しみながら働くこと



「8年間ありがとう」旧向山線

財産取得

ふれあいバス2台

取得金額
757万円

車両更新のため、宮崎トヨペットより2台取得しました。
新しいバスは、日向線と、向山線に利用されます。

全国和牛能力共進会
出場牛へお祝い金

全国和牛能力共進会に
7頭が県代表牛として出場
議会も激励



第12回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛として、第3区【若雌の2】に田原、林秋廣氏のこうみほ号、第4区【繁殖雌牛群】に三田井、藤原和昭氏のはる2号、下野、佐藤悟氏の第8いちこの28号、第6区種牛【総合評価群】に上野、馬崎太志氏のこころ号、田邊貴紀氏のたけまん号、興枳友成氏のさくら2号、第7区肉牛【脂肪の質評価群】に岩戸、佐藤孝輔氏の尚栄号の合計7頭が出場します。



町長をはじめとする関係者と一緒に、9月8日決算委員会開会前の7時30分から議員も運動公園で行われた調教練習時に激励に駆けつけました。



戸敷 二郎 氏
とじき じろう
戸敷 二郎 氏
三田井在住（2期目）

人事案件3件を可決

教育長・固定資産評価審査委員

戸敷教育長

を再任

固定資産評価

審査委員
選任同意

高千穂町固定資産評価審査委員会委員の選任同意2件については、どちらも出席議員全員賛成で可決しました。



任期は令和4年9月1日から令和6年11月30日までの、前任者の残任期間2年3カ月間です。



佐藤 章 氏
さとう あきら
押方在住（新任）

富高 隆治 氏
とみたかりゅうじ
岩戸在住（4期目）

任期は令和4年12月1日から令和7年11月30日までの3年間です。

【審査委員の任務】

価格に対する納税者の不服について、中立的・専門的な第三者として固定資産評価を審査します。



運動公園サブグラウンド

高千穂牛が日本一ばい！！



10月9日に
議員のみんなが
応援に来てくれたモ？

高千穂町教育委員会
教育長の任命同意については、賛成多数で可決しました。
任期は、令和4年11月25日から令和7年11月24日までの3年間です。
1期目は前教育長の残任期間、令和3年4月から令和4年11月24日までの1年7カ月間となっています。





【質疑】 高千穂神社付近のコスモス薬品の外壁・ポールサインの色彩変更に係る補助金300万円の事業経緯は。

【答弁】 同社とは企業版ふるさと納税の関係で協議する機会が増え、外壁などの塗替え工事に国の景観改善事業補助金100万円が使えるのが分かり実現した。



補正
景観補助事業第1号
コスモスの外壁など塗り替えへ

【質疑】 宿泊予約システム構築補助金関連事業の説明を。

【答弁】 旅館業組合ホームページや宿泊予約システムを作り、大手予約サイトに高い手数料を支払う必要が無くなる事業である。

【質疑】 町にとってのメリットは。

【答弁】 宿泊データを町が集めるにあたり、これまでのアナログからITの力でデータをリアルタイムで取れるメリットがある。

補正
宿泊予約データの活用を
宿泊予約システム構築補助事業

【質疑】 新型コロナワクチン接種体制確保事業費119万円計上の内容は。

【答弁】 集団接種で、武道館を長期使用したため、床面に傷みが生じ、その箇所を改善する費用である。

【質疑】 4回目のワクチン接種の状況は。

【答弁】 申し込み人数は4297人で、3回目4877人の内88%が申し込んでいる。

補正
コロナワクチン接種状況は
3回目接種済みのうち88%が申し込み



集団接種会場の武道館

【質疑】 コロナの自宅療養者の人数は。

【答弁】 9月1日現在196人である。

【質疑】 オキシメーターの貸与はどうなっているのか。

【答弁】 保健所が貸与している。

【質疑】 翌年度への繰越予算3億7600万円は、事業自体が残るため当初予算の執行において、担当職員の負担にならないか。

【答弁】 繰越事業は土木工事が多く、資材調達が困難であり、人手不足などが加わり、更に、国の補正予算が翌年度に繰り越しを前提の事業が多くなっている。

決算
繰越予算が多額に
職員の負担軽減を

功績を称え 3人を名誉町民に

緒嶋雅晃氏 内倉信吾氏 後藤俊彦氏



旭日中綬章祝賀会

議員発議（※）にて、元宮崎県議会議長の緒嶋雅晃氏、前高千穂町長の内倉信吾氏、高千穂神社宮司の後藤俊彦氏を高千穂町名誉町民とすることを全議員賛成で可決しました。称号の贈与については、10月30日の高千穂町市政施行100周年記念式典の中で執り行われます。本誌掲載は、年齢順となっています。

※【議員発議とは】 議会の会議において、議員が議案を議長に提出すること。



緒嶋雅晃氏 81歳

【功績】 昭和42年、上野村議会議員に初当選し、上野村合併後は、高千穂町議会議員として通算7期19年10カ月間にわたり在職し、副議長を歴任しています。昭和62年、その人柄と実績により地域住民から強く推されて宮崎県議会議員に初当選し、以来8期32年間の永きにわたり在職し、平成13年から2年間、本町出身者として初の快挙となる宮崎県議会議長を務めました。平成19年に地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を、平成29年には、永年勤続30年功労として全国都道府県議会議長会表彰を、令和元年には、地方自治功労として旭日中綬章を受章しています。



内倉信吾氏 78歳

【功績】 昭和40年より33年の永きにわたり高千穂町職員として在職し、行政経験の豊富さと実行力、誠実な人柄から平成11年、収入役に選任され4年間、要職を務めました。平成18年、町民から推されて高千穂町長に初当選し、平成31年まで3期12年間在職しました。観光地の駐車場整備、舗装石畳風改良といった観光振興、世界農業遺産認定、祖母傾大崩ユネスコエコパーク登録、中心市街地の活性化、農家所得向上のための農産物直売所整備といった地域資源、観光資源を生かしたまちづくりを行いました。その他にも、西臼杵消防署本部の設置、町



後藤俊彦氏 76歳

【功績】 昭和50年に禰宜として奉職し、昭和56年高千穂神社の宮司に就任、その後、神社本庁参与、宮崎県神社庁協議会議



秋篠宮様を高千穂峽にご案内

内全域に光ケーブル網を整備し情報通信格差の是正、中学生までの医療費全額助成、産婦人科診療所の開設などに取り組み、令和2年地方自治功労として旭日双光章を受章しています。



長などを歴任し、平成26年に神社本庁より神職身分の最高位とされる『特級』を授かりました。令和3年には、長年の奉仕を通じて神社界で非常に大きな功績を積み人格や見識に秀でた神職に授与される称号、神社本庁の最高位である『長老』を授与されています。平成5年から8年間、高千穂町教育委員会委員も務め、平成20年には、高千穂町観光協会会長に就任され、一般社団法人高千穂町観光協会設立に尽力、観光振興や地域経済発展に大きく寄与されました。令和3年には全国神楽継承・振興協議会設立準備会の会長に就任し、神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みに今も邁進されています。

総務産業常任委員会は、総務課、財政課、総合政策課、税務課、町民生活課、企画観光課、会計課、農林振興課、農地整備課、建設課、上下水道課が所管する議案について審査しています。

簡水・下水・上水 R3年度決算認定

総務産業 委員会報告

	歳入	歳出
簡易水道	8617	7418
下水道	2億1713	2億363
上水道	1億2775	1億2109
	140	1721

※上水道は税抜き額 (単位：万円)

簡水 15組合が統合

問 歳入の主なものは、簡易水道使用料、一般会計繰入金です。
答 歳入の主なものは、水質検査や施設管理などの委託料、ポンプ電気代、修繕費などです。

主な質疑

問 統合の状況は。
答 令和3年度末で統合済み15組合、未統合11組合です。

委員会の意見

統合のメリットを根気よく説明し、引き続き統合を推進していくこと。

全員賛成で認定

下水 接続率89%

問 歳入の主なものは、一般会計繰入金、下水道使用料です。
答 歳出の主なものは、長期償還金、浄化センター維持管理業務などの委託料です。

主な質疑

問 未接続世帯に対する推進状況は。
答 チャリンの配付や、保健所と連携して接続

問 のお願いをしています。
答 接続に対して補助はあるのか。
問 以前はありましたか、今はありません。
答 人口減少の中、経営の見通しは。
問 下水道施設をより維持経費のかからない施設にしていけることを検討しています。

全員賛成で認定

上水 管路更新が課題



水道管の老朽化で漏水が増加（写真は役場下）。計画的な管路更新に取り組む必要があります。

水道事業収益の主なものは水道使用料です。水道事業費用の主なものは、設備保守や漏水調査、検針業務などの委託料、ポンプ電気代、修繕費です。
問 差し引き経常利益が666万円ですが、特別損失28万円を計上しており、純利益が638万円、昨年度比で496万円の増です。
答 令和4年度で、更新計画策定業務を進めています。

委員会の意見

物価高で住民の暮らしは厳しくなっている。一方で、管路更新の費用を賄うには料金改定の必要がある。両者のバランスを取りながら、安定的な事業継続を図ること。

全員賛成で認定

条例改正 非常勤職員も 育児休業しやすく

今回の改正は、人事院規則、職員の育児休業等の一部改正に伴い、総務省より条例を定めるよう委任を受けている、非常勤職員における育児休業の制限緩和などが主なもの。例えば、改正前は子どもが1歳6ヵ月になるまで任期が見込まれていないと育児休業が取得できませんでしたが、改正後は子どもが生まれて57日以内に育児休業をする場合、57日とその後6ヵ月の任期が見込まれる場合は、育児休業を取得できるようになります。

主な質疑

問 改正により、育児休業の条件は、常勤職員と非常勤職員で同様にすることでしょうか。
答 取得できる期間に違いはありますが、その他の取得要件は同様です。

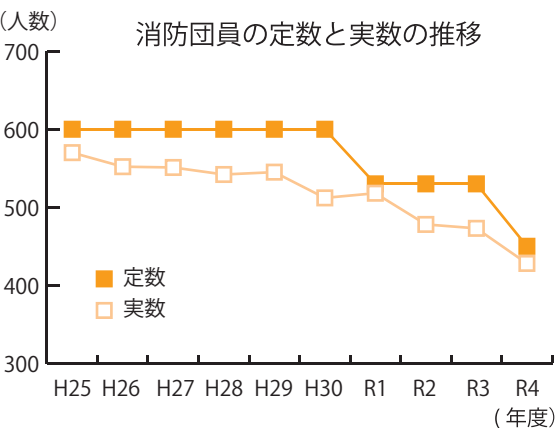
委員会の意見

子どもを育てやすい社会にするためにも、町職員が率先して育児休業を取得すること。

全員賛成で可決



条例改正 消防団員定数 530人→450人に



主な質疑

問 今後とも団員数の減少が続くことも考えられるが対策は。
答 引き続き入団勧誘など行いながら、統廃合による消防団組織の再編や、消防団OBとの連携など検討します。

委員会の意見

現状に即した組織の統廃合の検討を進めるとともに、防災力を維持するために女性消防団員や消防団OBなどを含めた人材確保に努めること。

全員賛成で可決

女性消防団員楽しく活動中

本町の女性消防団員は現在4人で活動中。学校の先生や生徒、地域の方々に心肺蘇生法やAEDの使い方を中心とした救命講習や、11月の火災予防を目的とした防火パレードでは、火の用心の呼びかけを行うなどの活動をしています。



田原小学校での教員向け救急救命講習

活動に興味のある方は、いつでも大歓迎ですので、総務課までご連絡ください。

総務課
☎73-1200

条例改正 光ケーブルの無料電話 未納分の徴収継続

明文化していなかった再開引込工事などの工事負担金の明文化と、すでに終了した無料電話やラジオ放送についての月額利用料について、未納がある場合は徴収を続けることと改正します。

問 再開引込工事の工事負担金とは何か。
答 再開引込工事は施設の形状により、2万5000円から8万円ほどを役場が業者に支払いますが、そのうち1万円を利用者に負担していただくものです。

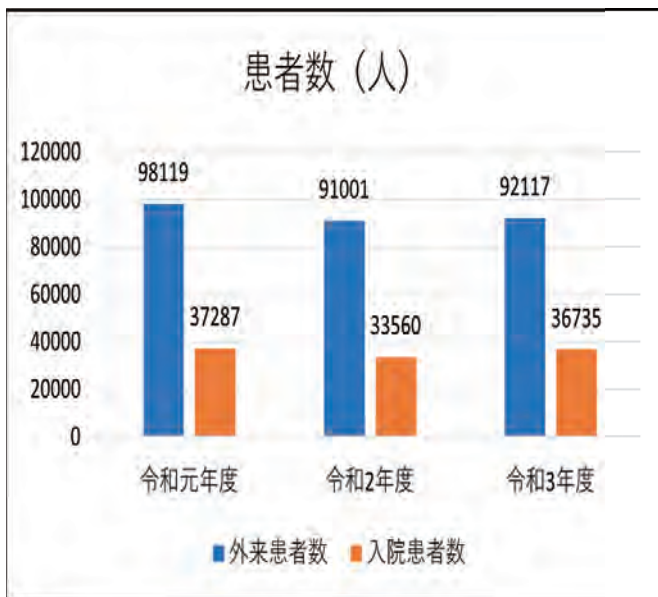
全員賛成で可決

8月24日から、コロナ病床を2床から10床に増やし、長期化するコロナ対策に備えました。

町立病院の決算状況及び患者数は下記のとおりです。

町立病院決算

- 医業収益及び医業外収益の増により
971万円の黒字に
- コロナ病床が2床から10床へ



外来、入院とも2年度より増加

決算状況 (単位: 万円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収益	21億1724	21億9670	22億4380
総費用	21億2807	22億5011	22億3409
純損益	-1083	-5341	971

問 コロナ病床が増えたことで職員の負担も増えたのではないかと聞かれました。

答 コロナ病床利用者が増えれば、病棟職員への負担が増えるが、外来職員の応援を受けながら対応している。

問 患者数が増加傾向であるがなぜか。

答 病院も、患者さんも、コロナ対策に慣れてきており、2年度に見られた通院控えがなくなってきたと思われる。

全員賛成で認定

文教厚生委員会報告

文教厚生常任委員会は、町民生活課、福祉保険課、町立病院、税務課、教育委員会、保健福祉総合センターが所管する議案について審査します。

問 施設入居を希望しているが介護度の違いで利用できない方から再審査の要望はないか。

答 通常は認定を受けて1年、または介護度が上がる変化が少ないため2、3年で変更であるが、要望があればケアマネジャーを紹介して対応している。

全員賛成で認定

歳入は1億360万円、歳出は1億292万円で、差引額67万円を令和4年度に繰り越します。一カ月で20、30件の審査を行い、3年度は高千穂町621件、五ヶ瀬町210件、日之影町202件の合計1033件の審査を行いました。

令和3年度特別会計決算4件、町病院事業会計決算1件、計5件を審査・認定しました。

西臼杵地域介護認定審査会

年間1033件の審査を実施
昨年度比118件の増

文教厚生常任委員会

介護度と利用できるサービス

介護予防・生活支援サービス		介護予防・介護サービス										介護保険外サービス							
要介護	要介護5	訪問介護	通所介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ(町外)	通所リハビリ(町外)	ショートステイ	グループホーム入所 ※1	特定施設生活介護	老人ホーム入所 ※2	介護老人保健施設入所(町外)	介護療養型・介護医療院入所	福祉用具貸与 ※3	福祉用具購入	住宅改修	養護老人ホーム入所	ふれあい給食利用	家族介護券支給
	要介護4																		
	要介護3																		
	要介護2																		
	要介護1																		
要支援	要支援2	訪問型サービス	通所型サービス																
	要支援1																		
総合	総合事業																		

「※1～3」は認定度合によって変わりますので、詳しくはケアマネもしくはげんき荘まで。

国民健康保険

被保険者数、年々減少



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター「オレンジくん」

歳入は、18億4254万円、主なものは県から、保険給付費等交付金13億1467万円、保険税2億7420万円です。

歳出は、18億1695万円、主なものは、保険給付費13億1984万円です。

後期高齢者医療
保険料収納率100%

歳入は、1億8641万円、保険料の収納率は特別徴収100%、普通徴収99.9%です。

歳出は、1億8470万円であり、繰越金額は171万円となります。

被保険者数は2647人です。

介護保険

65歳以上の人口比率
43.9% (5033人)
令和2年度比: 0.9%増

保険事業勘定の歳入は15億4665万円で、主なものは保険料2億4753万円、その他、国・県からの負担金・補助金・交付金、一般会計繰入金などです。

歳出は14億9307万円、主なものは介護サービス給付費や施設介護サービスを含む保険給付費13億2600万円です。

歳入から歳出を差引いた額5357万円を令和4年度に繰越しました。

介護サービス事業勘定の歳入は11132万円、歳出は1096万円です。

ここの山の〜♪ まだまだ元気!



3年ぶりの刈干切唄全国大会

委員会の意見

通常業務と、新型コロナワクチン接種事業の業務により多忙であると思うが、事故なく業務を推進するよう要望した。

全員賛成で認定

委員会の意見

特定健診受診率アップは評価できる。

60%越えを目指し町民へのPRに努めること。

全員賛成で認定

私たちの元気の源です!



ひばりヶ丘愛好会

全員賛成で認定

しんから 聞くばい!!

町長に6人が質問



ふじたとしひろ
藤田利廣議員

人口減少対策を早急に

町長 総合戦略の実行が重要

問 人口減少は世界の流れであり止めることはできないが、遅らせることが必要である。

町長 この問題はすべてに繋がるので先送りせずみんな考える必要がある。町長は認識しているのか。

町長 第2期高千穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略を実行していくことが重要であると考えている。

問 高千穂高校魅力強化推進事業の進捗状況は。

町長 高千穂高校魅力強化推進委員会を、年に1度開催して努力している。

問 町営の寮の建設は出来ないか。

町長 現在男子寮3棟、女子寮1棟で、49名が寮生活をしているが、今後地域みらい留学3年版の実施、



高千穂高校生徒寮

問 コロナ感染症の対策について問う。

原材料、燃油など高騰している一方で農畜産物の販売価格は低迷しているが、中山間地域農業の対策は。

町長 国の燃油、資材、被覆、肥料などの高騰対策事業を活用し、当面する諸課題に対応している。

問 商店、商工会の対策は。

町長 プレミアム付き商品券1万3000円の一部補助金と全世帯1人当たり5000円の商品券を配布し、経済回復と町内消費拡大に努めている。

問 上野、田原地区で、主要店舗が閉店したが、高齢者の買い物支援は。



くどうひろし
工藤博志議員

コロナによる 各分野への対策は

町長 関係団体と協議し、対応する



消防団操法大会

町長 社会福祉協議会の「あい・ぶらす」事業及び外販事業組織の支援を続けるとともに、スーパールの移動販売車と連携し、買い物環境の改善に向けて協議する。

問 高齢者福祉施設の対策は。

町長 3年間操法訓練を休止したため、部内で基本操作訓練を行っている。今後は、団本部幹部会で協議する。

町長 感染拡大防止対策の観点から消毒液、マスク、ガウ



いたくらつお
板倉哲男議員

役場ロビーに意見箱を

町長 設置に向け検討

問 町立病院には誰でも投書できる意見箱が設置されている。

投書された意見については、病院としての回答をしたうえで公表されている。これにより、町立病院の業務改善が絶えず図られている。一方、町役場にはこうした意見箱が設置されていない。

町立病院と同様の意見箱を役場ロビーにも設置してはどうか。

町長 現在取り組んでいる広報誌内の葉書や公式ラインに加えて、役場のロビーに意見箱を設置することは、様々な意見を聞く機会を多く作り、町民の皆様へ寄り添った町政の運営のためにも有効と考えられる。設置に向けて検討していきたい。

皆様からのご意見をお待ちしております。



町立病院の意見箱

出荷者の声を聞くべき

町長 もう少し落ち着いてから

問 7月からまちづくり公社が道の駅と鬼八の蔵の運営をしている。

本町とまちづくり公社で交わした管理業務仕様書には「出荷者を対象にした意見交換会及びアンケート調査を実施し、管理運営に反映すること」と記載がある。

まだどちらも未実施とのことだが、早急に実施し、出荷者の声を聞くべきでは。

町長 6月議会で、「生産者との協議が十分ではなかったか」との意見を頂き、気にかけているが、手数料の件も含め、現在のところ苦情などは入っていない。

リニューアルしてから職員は売り上げを伸ばす様々な努力をしている最中であるため、意見交換会及びアンケートについては、もう少し落ち着いてから取り組みたい。

問 本町の少子化は著しく進んでおり、平成27年度の出生数は114人であったが、令和3年度は56人、本年度はそれよりも減少し、40人台の見込みである。

町民の子育てに際しての困り感から、施設の充実が求められている。子供が安全に遊ぶ所が少ない本町であるが、選挙公約でもあった、安全に雨の日も遊べる児童遊園を備えた公園の整備は。

町長 現在、中央児童公園（城山公園）を整備中である。

問 中央児童公園は孫守りの方や、乳児連れの利用を考えると、駐車場がない、高台にあり安全対策が必要、農協からの階段が危険などのことから



折原グラウンド

進む少子化 早急に環境整備を

町長 早急に取り組む

整備後の利用者が限られると思われる。

町民誰でも利用しやすい公園整備の考えは。

町長 総合運動公園、または、折原グラウンドの整備も考えている。

問 少子化の要因の一つとして、母親が育児を背負うことによる不安と孤立化が問題視されており、男性の育児参加、それを理解する社会の仕組みづくりは急務である。

男性職員の育児参加への取り組みは。

町長 早急に庁内に検討委員会を立ちあげる。

町長 魅力ある教育施設をつくり、学校環境の整備も急務である。高千穂中学校の改築移転はどうなっているのか。



いそがいすけお 議員 磯貝助夫

産廃処理場問題の今後は 町長 今後の状況を注視する

子育て支援金 支給事業の充実を 町長 財源の有効活用 を検討する

子育て支援金の支給額内訳は第1子から第3子までが約90%を占める。現在、第1子が3万円、第2子が5万円、第3子が10万円であるが、第3子までの支給額を増額し第4子（15万円）と同額にしてはどうか。

問 熊本県山都町東竹原地区に産業廃棄物最終処理場が建設予定である。情報収集のため現地説明会などに参加して、処理場から五ヶ瀬川流域に処理水が流れ出ることを知った。環境汚染、風評被害など本町への影響は大きいと考えるが、今後の町の対応を問う。

町長 宮崎県をはじめ関係市町、関係機関と連携を密にし必要な行動を行う。今後、正確な情報を収集し、町観光事業者、漁協をはじめ、幅広く町民に情報提供をする。また、住民説明会の開催を業者や関係自治体に求めるとともに、今後の状況を注視していく。



産廃処理場予定地

問

子育て支援金の支給額内訳は第1子から第3子までが約90%を占める。現在、第1子が3万円、第2子が5万円、第3子が10万円であるが、第3子までの支給額を増額し第4子（15万円）と同額にしてはどうか。

町長

少子化対策を進めるうえで、子育て支援金を増額することの効果検証や、安定した財源確保が必要となる。あと数年間は状況を確認し、その後検討したい。



たなかよしのり 議員 田中義了

公園化27億円の 町長 町道工事を追加計画 大事業なのに

町長

問 高千穂鉄橋の耐用年数と補強工事で何年もののか。

町長 鉄橋自体に耐用年数は無く、補強工事により永年使用可能と考えられる。

問 鉄橋の橋脚耐震補強工事はどうするのか。

町長 鉄橋歩廊化施工時に、必要な箇所の補強工事をする。



県道をまたぐ桁又橋梁

問

高千穂まちづくり公社の最高経営責任者の7、8月の実働日数は。

町長

現在、別会社での仕事を継続しており、7月は9日間で38時間、8月は11日間で44・5時間である。翌年1月に移住予定で、それまでは月2回、



道の駅店内

1泊2日の来町予定で、今のところ業務に全く支障はない。

問

コンサル会社から情報発信部門のスタッフを出向してもらおうとのことだが、状況は。

町長

予定者はスウェーデン人のため、入国規制があり調整中で、年内に着任予定である。

読者のひろば

すばらしい 児童の質問

「小学生が議会見学」の記事は、大変関心をもちました。

大人たちが、自分の住んでいる町をどうしたいか話し合っていることを、子供たちには知らせることができ、議会を身近なものに感じられたと思います。

また、児童の質問はとも正直で、納得できるもので、政治に対する関心の深さがよく分かりました。

（70代男性 他多数）

出荷者への説明が 不十分では

まちづくり公社の記事について、出荷者の1人として、手数料が大幅にあがったことに説明不足を感じていました。

手数料引き上げ分は販売価格を上げることですが、それは出荷者が決めることで、価格引き上げにより売れ残りが心配です。

指定管理委託は賛成です。出荷者への丁寧な説明を御願いたします。

（60代女性 他数名）

読者のひろば企画 について

読者のひろばは、議会だよりを町民の方々にとって身近な広報誌にするために、町内56公民館に公民館長を通してアンケートを配布させていたでいて、ご意見を頂き活用してきました。

より見やすくなったなど改善もできましたが、内容が難しいといったご意見もあり工夫が求められます。

新たなアンケート企画をスタートします。多くのご意見をおまちしています。

議会報編集委員会

表紙写真にたくさんのご応募ありがとうございました。

最終選考まで残った写真をご紹介します。



徳別当棚田収穫祭
おのまさみち
小野正道さん（三田井）



魚のつかみどり
K・Kさん（岩戸）



洗練された黒毛和牛
K・Hさん（岩戸）



表紙写真募集の詳細はコチラへ

皆様からのお便り、表紙写真を随時お待ちしております。

● 郵送
〒882-1192
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13
高千穂町役場 議会事務局

お便りの様式は特にありません。
郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。
また、表紙写真については応募規定がありますので、詳細については町のホームページか、右のQRコードをご参照ください。

● FAX 0982-73-1230
● メール gikai@town-takachiho.jp



はばだけ!

高千穂みらいびと



高千穂ソフトボールスポーツ少年団



最後の最後まで 一心

「将来の夢を教えてください。
みんなに頼りにされるような看護師になることです。」

キャプテン

いいほしゅ あ
飯干由彩 さん
6年生
(押方小)



「これからの目標を教えてください。」
ソフトボールでホームランやヒットをたくさん打つことと、練習をいっぱいしてチームが勝つことです。

「高千穂の好きな所を教えてください。」
自然が豊かで空気もきれいなところです。朝早く試合に行く時に「頑張ろう」という気持ちになります。



【チーム紹介】

監督 飯干和宣
コーチ 甲斐洋介
藤原翔太

育成会会長 佐藤圭二
活動拠点(練習場所) 高千穂小学校グラウンド

【団員構成】

・高千穂小学校児童
6年2人、5年2人
4年6人、3年2人
2年1人
・押方小学校児童
6年1人、5年1人
2年1人
・上野小学校児童
4年1人

合計17人

今月の表紙

栃又棚田で黄金色になった水稲と、高千穂鉄橋を渡るあまてらす鉄道のとろっこ列車です。



「指導者の言葉」
上手になって欲しいから厳しく指導することもあります。

一番はソフトボールを楽しんでもらうこと、笑顔でプレーし、みんなで声を掛け合い、みんなで助け合うこと。ずっと、ソフトボールを好きでいて欲しいです。



編集後記

宮崎県は昔、「台風銀座」と言われ、毎年台風襲来に悩まされた。ストパー台風14号は本町でも長時間にわたる激しい恐怖感を覚える風雨に見舞われた。台風さ中、各議員からSNSで現場の臨場感ある被災報告が刻々とあった。

Y・T

発行責任者

議長 坂本弘明

議会報編集委員会

委員長 佐藤さつき

副委員長 本願和茂

委員 磯貝助夫

委員 板倉哲男

委員 田中義了

委員 藤田利廣

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は11月24日開会予定です。

傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 73-1219
(議会事務局直通)

この議会だよりは、4,700部作成し、1部あたりの費用は約91円です。

議会だより たかは No.116

2022年10月25日発行